

明るい JR 和歌山駅を作ろう

曹 凱瑜

(教育学部 日本語・日本文化研修留学生) (中国)

5月18日に、JR和歌山さんたちに連れてくださってJR和歌山駅と駅の周辺を歩き回った。そのうち、色々な事を感じた。

JR和歌山駅のすぐ近くに近鉄百貨店やMIOなどの百貨店があってもものすごく便利である。また、駅地下広場と地上広場もあり、駅利用者たちの休憩所として使われている。その上、近くに地下駐輪場と地上駐車場も何箇所あって大変便利である。駅の前にあったふれあい通りが和歌山城と繋がって観光客にとってすごく便利である。

しかし、以上のような数多くのいいところがあるほか、足りないところにも目を逸らすわけにはいかない。一番感じた足りないものは、人通りが少なく寂しいことだ。

まず、和歌山駅自体から話しよう。駅の建物自体は立派だが、チケットの自動販売機が少々足りないようである。3つしかない販売機は普段なら大丈夫だが、人の多い休日になるとよくかなり長い行列ができています。そのため、販売機を2つくらい増やした方がいい。一方、駅のトイレとエレベーターの場所は少々わかりづらいように感じられる。トイレとエレベーターへの目立つな指事的な文字や看板などを作っておいたほうがいい。

次に駅地下広場のところだ。歩き回った時の集合場所は和歌山駅地下広場だった。昼の時だったが、地下広場が暗かった。暗い上に、席も少なかった。地下広場は、元々人々の休憩所として使われたのだ。休憩所ならば休憩所の施設が必要だ。しかし、その地下広場には、席も少ないし、電気も明るくなかったのだ。そのため、もう少し電気と席を増やしたほうがいい。また、喫茶店みたいな机や椅子を置いて、ミニカフェを作ってもいいじゃないか。ミニカフェが作れなかったら、せめて自動販売機とかを置いていてもかなり良くなると思う。他に、地下広場は地下駐輪場に繋がっていることは、JRを利用してから初めて分かったことだった。そこで、地下広場の入り口のところに、「地下駐輪場連絡口」を書き添えたほうがいいと思う。そうすれば、地下広場の人通りも多くようになれるし、地下駐輪場の利用者たちも遠回りをしなくても済む。

また、近鉄百貨店の西側にあるビルは今十分に使われていない。そのため、そのビルを活用しなければならない。ビルの一階をケンタッキーやマクドナルドなどのファーストフードの店に改造し、二階を和民や木曾路などの和食のチェーン店に改造し、三階をイタリアやフランス料理などの外国料理屋に改造し、四階を映画館やボーリンググラウンドに改造したほうがいいと思う。その他、ふれあい通りには、一ヶ月一回のフリーマーケットがあるようだが、そのフリーマーケットに行く人は少ないのだ。そのため、宣伝が必要とされている。そこで、JR和歌山駅の中に、フリーマーケットのパンフレットを置いたらいいじゃないかと思う。

最後には、JR和歌山駅の上に屋上庭園を作ると、観光客も引かれる。大阪や池袋のビルの屋上にはかなり屋上庭園がある。そこに行く観光客も多いのだ。それらの屋上庭園は観光スポットにもなったのだ。それらを真似して和歌山駅の上に屋上庭園を作ると、人通りも必ず増えるのだろう。自分で簡単なイメージ図を以下の様に描いてみた。

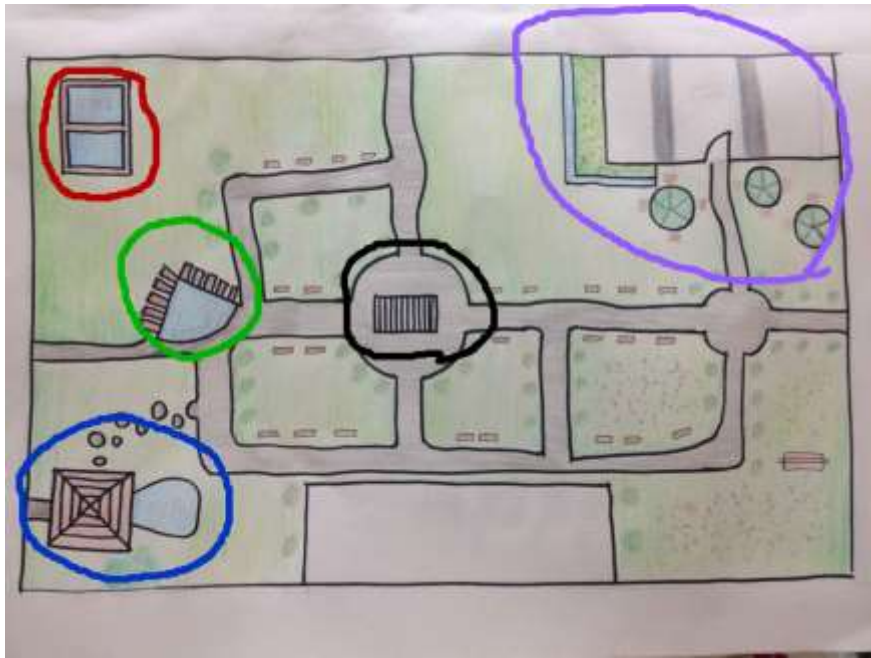


图 1



图 2

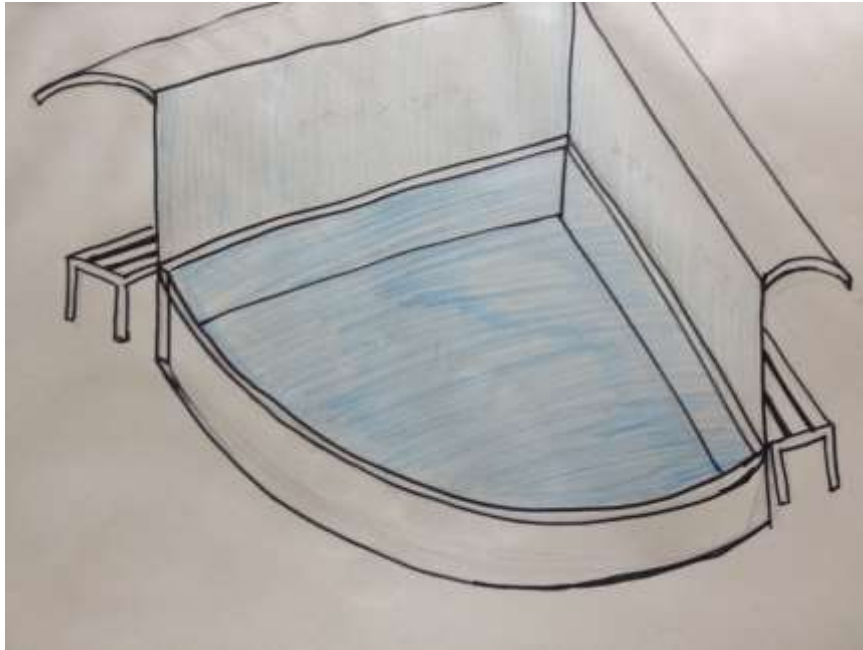


図 3

図 1 は全体のイメージ図だ。左上の赤い丸の中には、足湯である。歩く疲れた時に、足湯でゆっくり休めるのだ。真ん中の黒い丸の中には階段である。下から屋上庭園に登るゴシック式な階段を作るのだ。右上の紫色の丸の中にはカフェショップである。左下の青の丸の中には、図 2 の様な小さい庭園である。残った緑の丸の中には、図 3 の様なプールである。プールの両側はガラスの壁で、壁の片側の水カーテンだ。こういうふうには、屋上庭園は観光スポットとして、人通りを寄せ引く役割を果たせるのである。

以上の様に、明るい JR 和歌山駅を作ろうということを目指して、もっと賑やかな和歌山を作ろう。